

### 3. レクリエーション・観光系統

自然環境及び緑地がもつレクリエーション・観光機能には、「日常レクリエーションの場」、「広域レクリエーションの場」「レクリエーションの活動の実施」、が挙げられる。それぞれの機能について、田原市の現況評価を行い、課題を抽出した。

#### 3-1. 日常レクリエーションの場

○身近な自然環境や緑地、公園等には、子どもの遊び場や散策路、スポーツを楽しむ場、緑や自然に親しむ場などの日常レクリエーションの場としての機能がある。

##### (1) 現況評価

緑が関連する市民の日常のレクリエーション施設としては、街区公園をはじめとして、ちびっ子広場、児童遊園、農村広場などの各種公園があるものの、地域的偏りがあり、赤羽根市街地、福江市街地には整備されていないのが現状である。市域全体でみても、周辺都市（豊橋市）より都市公園の一人当たりの面積が少ない。（豊橋市：9.45 m<sup>2</sup>。田原市 4.82 m<sup>2</sup>）

より広範囲の誘致を目的とした総合公園については滝頭公園、白谷海浜公園の2箇所があり、また、汐川の下流には、中央公園の整備が進められている。

また、公園単体だけでなく、住宅と公園を結ぶ散策路など緑地間のネットワーク形成もより充実したレクリエーションを創出するために効果があるが、十分な整備はされていない。

田原市の自然環境を日常的に体感できる里山や自然歩道などが一部整備されているが、山地全域での整備は十分されていない。

##### (2) 課題

- 今後の高齢化や人口の増加、就業人口の推移などを踏まえた、多様なニーズに応える公園施設などの整備が必要である。
- 多様なニーズに応える公園施設の整備手法として、公園の計画への住民参加などを推進する。
- 市街地における都市公園などの偏りの改善が必要である。
- 緑地と周辺道路の緑のネットワークづくりが必要である。
- 日常に体感できる里山や自然歩道などの整備が必要である。

### 3-2. 広域レクリエーションの場

○自然環境や緑地は、広域を対象とした、観光圏の一端を担う観光拠点や、田原市の風土を活かした、独特の自然とのふれあいの場やスポーツ、歴史・文化体験としての場などの広域レクリエーションの場としての機能がある。

#### (1) 現況評価

広域レクリエーションの場としては、次の主要観光資源が挙げられる。

- ・ サーフインが行われている「太平洋ロングビーチ」
- ・ 夏場の海水浴が楽しめる「仁崎海水浴場」「白谷海浜公園」「伊良湖海水浴場」
- ・ 特徴的な地形を活かした「一色の磯」「日出の石門」
- ・ 海浜植物や岬の景観を活かした「恋路ヶ浜」
- ・ 山林の自然や景観を活かした「蔵王山の展望台」
- ・ 田原市の観光情報の発信施設である「道の駅田原めっくんはうす」「道の駅伊良湖クリスタルポルト」
- ・ 歴史的施設の拠点となる「田原城址」
- ・ 農業観光施設の拠点となる「サンテパークたはら」
- ・ 田原市を代表する観光地である伊良湖岬の宿泊施設
- ・ 伊良湖岬の万葉の歌碑などの文学碑

上記施設の中でも、「道の駅田原めっくんはうす」「サンテパークたはら」「太平洋ロングビーチ」では利用者数の伸びが見られるが、その他の施設では低迷しており、それぞれの特色を活かした施設の魅力向上や連携強化による利用者数の増加が必要である。

また、平成 17 年に表浜沿いにあった伊良湖フラワーパークが閉園し、現在は広大な空き地となっている。このような良好な自然環境資源を有する場所であるものの、広域利用者がレクリエーションの場として利用できる施設などがない場所の有効活用が必要である。

レクリエーション施設にとって独自の雰囲気づくり、演出は重要であり、緑は大きな影響力を有する。太平洋岸のヤシによるテーマ性のある緑はイメージづくりに成功している事例であるが、本来は田原の自然を活かした田原らしさを演出する景観づくりが重要である。

また、緑道による連携は各レクリエーション施設の連続性を演出する手段となるが、整備途上の状態である。

#### (2) 課題

- 田原市全域で魅力的な都市形成を目指して、自然、歴史、産業と幅広い観光、レクリエーション要素があり大きな魅力であるが、観光、レクリエーション拠点のテーマに合わせた魅力向上のための緑の創出が求められる。
- 緑道等などによるレクリエーション施設間の連続性の確保が必要である。
- 自然環境資源を活かしたレクリエーションの場の創出が必要である。
- 蔵王山、衣笠山、稲荷山などは自然とのふれあいの場として活用されていることから、保全が求められる。



太平洋ロングビーチ



白谷海浜公園



日出の石門



蔵王山 展望台



道の駅伊良湖クリスタルポルト



田原城址



サンテパークたはら



休暇村伊良湖



フラワーパーク跡地



伊良湖岬 万葉の歌碑

### 3-3. レクリエーション活動の実施

#### (1) 現況評価

近年の、自然とのふれあいや、スローライフの流行、学校での総合学習の実施など、自然や緑が関連するレクリエーション活動へのニーズが高まっていることから、田原市においても、豊かな自然を活用した市民活動が実施されている。

その他、地引き網等田原の文化を体験する催しやNPOによる自然観察会の他、小学校における学校林の維持管理、環境教育などの活動も行われている。

また、菜種油の活用や風車の設置などのエコロジカルな取り組みに力が入れられており、それを活かした活動等も見られる。

これら市民活動を活発化することは、市民のレクリエーションニーズに対応することにつながり、また、自然への理解を深めることにより、豊かな自然環境を保全するために有効である。

#### (2) 課題

- 自然が豊かであり、さらなる市民活動の展開が期待できるが、これらの市民活動を維持し活発化するために、参加機会の提供、活動への援助、施設整備、各活動のネットワークづくりが重要である。
- 花きによる花壇作りなどの緑化活動は花の時期により植え替えが必要となることから、継続的な緑化という観点からは、グリーンバンクの設置などの樹木による緑化活動を推進することも必要である。

図 2-3-1 : レクリエーション・観光評価図

